

2025/11/1市民公開講座

身体のつらさと向き合う ～自分らしく過ごすために～

大分大学医学部附属病院 緩和ケアチーム
麻酔科 佐々木美圭

麻酔科医って？



「手術のときに麻酔をかける先生でしょ？」



それも大切な仕事ですが、実はそれだけではありません！

麻酔科医は、**苦しみや痛みを和らげる**ことも仕事です

手術の時・・・安全に眠っていただき、目が覚めたあともなるべく痛みが残らないようにサポート

手術以外・・・**慢性的な痛み**や、**がんによるつらい症状**を和らげるお手伝い

「からだのつらさ」を**医学的にコントロール**して、
その人らしく過ごせるようにする、それも麻酔科医の大事な役割です



救命救急

麻酔



緩和ケア



麻酔科



集中治療

ペイン
クリニック



大分大学医学部附属病院の麻酔科

麻酔科

手術麻酔

集中治療

ペイン
クリニック

緩和ケア

痛みを専門とする医師が
緩和ケアチームで活動

緩和ケアチームの一員として、
身体のだらさを和らげるサポートをしている

身体のつらさとは？

- ・ 痛み
- ・ 息苦しさ
- ・ 吐き気・食欲不振
- ・ だるさ（倦怠感）



痛みの緩和には・・・

- ・ がんの痛みはコントロールできます
ズキズキの痛みには効く薬（鎮痛薬）
びりびり、ヒリヒリに効く薬（鎮痛補助薬）
- ・ 飲み薬、貼り薬、注射など様々な方法があります
- ・ 神経ブロックなどの治療方法もあります



オピオイドとは？

- ・モルヒネなどの「強い痛み止め」のこと = 医療用麻薬
- ・がんの痛みや息苦しさをやわらげるために使う

中毒になるんじゃないかと心配・・・



医師の指導のもとに
正しく使用すれば、
中毒にはなりません！

オピオイドとは？

- ・モルヒネなどの「強い痛み止め」のこと
- ・がんの痛みや息苦しさをやわらげるために使う

それって、
最期に使う薬では？

がんと診断されたときから、
早い段階から使えます



オピオイドとは？

- ・モルヒネなどの「強い痛み止め」のこと
- ・がんの痛みや息苦しさをやわらげるために使う

副作用が心配だな・・・



副作用に吐き気、便秘、眠気ができることがあります

吐き気止めの薬や便秘薬を使用して対応します

眠気が強い場合は、薬を減らします

がん性疼痛の治療法

薬物療法



オピオイド
内服、注射

神経ブロック



がん性
疼痛

鎮痛薬
アセトアミノフェン
NSAIDs
(非ステロイド性消炎鎮痛剤)
ステロイド
鎮痛補助薬

手術
放射線療法
骨代謝修飾薬
理学療法

自分で痛みを管理

PCAポンプ

Patient Controlled Analgesia



がん性疼痛に対する神経ブロック

- ・ 顔から足まで、いろいろな神経ブロックの方法があります
- ・ 1回の神経ブロックで長期的に効くもの、持続的に薬を流すものがあります

ガッセル神経節ブロック

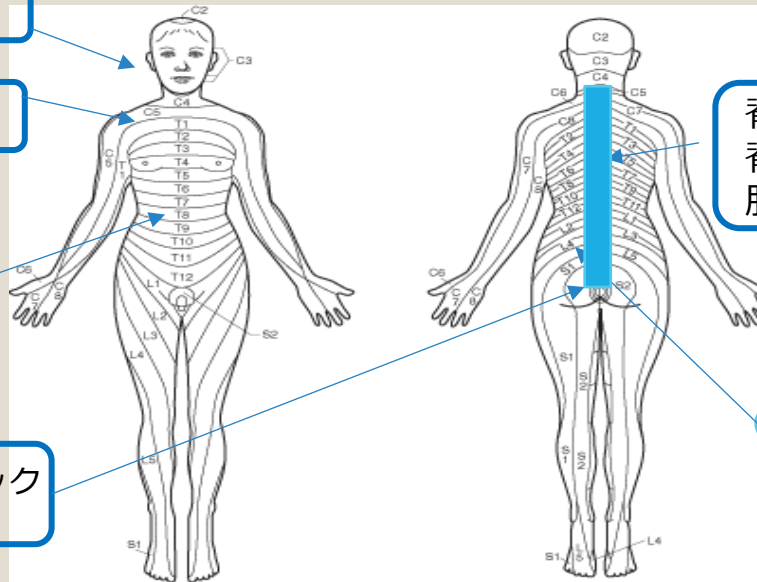
腕神経叢ブロック

内臓神経ブロック
上腸間膜動脈神経叢
下腸間膜動脈神経叢
上下腹神経叢ブロック

脊髄くも膜下フェノールサドルブロック
不對神経ブロック

脊髄神経根ブロック
脊髄くも膜下フェノールブロック
肋間神経ブロック

硬膜外腔・脊髄くも膜下腔
モルヒネ投与



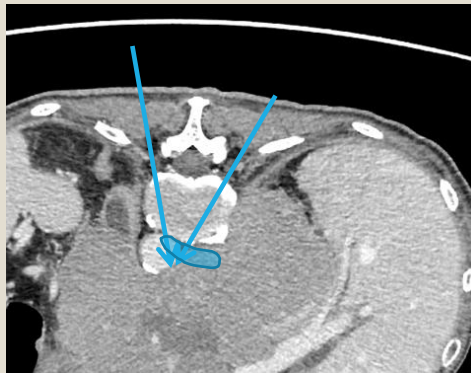
日本ペインクリニック学会；
がん性疼痛に対するインターベンション治療ガイドライン

注意：出血しやすい、感染している、針を刺すところにがんがある場合は
神経ブロックができないことがあります

まずは緩和ケアチームやペインクリニックにご相談ください

内臓神経ブロック

上腹部痛



呼吸が苦しいとき

- 呼吸困難にもモルヒネが有効です
- 酸素だけでなく、「安心感」も大切です
- 体位や風を使う工夫もあります



呼吸困難のケア



その他の症状の緩和

- ・ 吐き気、便秘、だるさなども緩和ケアの対象です



- ・ 不安による身体症状にも対応します（精神科と連携）

Aさんの場合

- ・ がんによるお腹の痛みで、痛み止めの薬を飲んでいるが夜も眠れない
- ・ 痛くてご飯も食べられない
- ・ 吐き気もある



オピオイドを内服開始

- ・ 痛みが改善して夜に眠れるようになった
- ・ 吐き気止めの薬を使用して、食事もとれるようになった
- ・ 家族とお話したり、お出かけできるようになった



適切にオピオイドを使用して生活の質（QoL）が大きく改善

薬で穏やかに過ごせるようになりました

麻酔科医からのメッセージ

- ・ 緩和ケアは“自分らしく生きること”を支える医療です
- ・ つらさを我慢せずに相談することで、安心して過ごすことができます
- ・ 『その人らしさ』を大切にしながら、身体症状を和らげます
- ・ 早めの緩和ケアが、より豊かな時間につながります